



カタカタ通信

第214号

「繁殖期は、どう始まるの？」

2026年2月2日

この時期、コウノトリたちの行動は、繁殖に向けて日々少しずつ変化しています。今回は、はじめてコウノトリの繁殖行動を知る方にも分かりやすく、繁殖期がどのように進んでいくのかをご紹介します。

コウノトリの繁殖期というと「ある日突然、卵を産んで子育てが始まる」そんなイメージを持っている方も多いかもしれません。ですが実際には、繁殖期は少しずつ始まっていきます。

その最初の兆しとして見られるのが、相互羽繕いです。2羽が近くで過ごし、お互いの羽をくちばしで整え合う姿が、少しずつ増えていきます。ペアで落ち着いて過ごす時間が増え、関係が深まってきたことがうかがえます。



空に羽繕いする花



花に羽繕いする空

相互羽繕いが増えてくる頃には、相互クラッタリングと呼ばれる行動も増えてきます。2羽がくちばしを打ち鳴らし合うこの行動は、繁殖期以外でも見られますが、ペアで過ごす場面が増えてくるこのあたりから徐々に頻度を増してきます。

次に目につきやすくなるのが、巣材を運ぶ姿です。枝をくわえて運んだり、巢台に持ち込んだりする様子が増えてきます。最初のうちは、オスが巣材を運ぶ様子を多く見かけます。



枝を運ぶ空



チガヤを運ぶ空

その後、枝だけでなく草なども運ぶようになり、巢台の上で巣材を整える時間が長くなっていきます。メスも巣づくりに関わる場面が増え、2羽で巣を整えている様子が見られるようになります。



2羽で一緒に巣を整えます

さらに進むと、2羽が巢台の上で並んで過ごす姿が増えてきます。日中だけでなく、夜も巢台で過ごすようになり、巣が「安心して過ごせる場所」へと変わっていきます。



巢台で寄り添って休みます

今シーズンはすでに、オスが短い時間、試すように巣に座る姿も観察されています。この行動も、いきなり長く座るわけではなく、少しずつ確かめるように行われています。



巣の座り心地チェック？

このまま順調に進んでいけば、オスが巣に座る時間が少しずつ長くなったり、交尾が見られるようになってきたり、メスが巣に座るようになって、産卵へと進んでいくことも期待されます。

コウノトリの繁殖期は、このように行動の変化を追っていくことで、その流れが見えてきます。これからどのような行動の変化が見られるのか、楽しみにしながら、温かく見守っていただければと思います。

天空の里 鴻巣市コウノトリ野生復帰センター

飼育担当：ほっぴー